

終戦76周年企画 ドキュメンタリー作品上映会



(c)2009 Yoju Matsubayashi

2021年

8月15日(日)

開 場：11時20分
黙 とう：12時00分～
上映開始：12時05分
(上映時間106分)

内容

第二次世界大戦終戦 76 周年を記念して、歴史の表舞台にはあまり登らない、戦地残留を選んだ日本の「未帰還兵」たちの人生のドキュメンタリー作品を上映いたします。

また、当日が終戦記念日であることから、戦没者への追悼の意を込めて、正午から1分間の黙とうを行います。

定員

30人(指定席)

- ※未就学児はご遠慮ください。
- ※一部ソファ席があります。
- ※コロナ禍の影響により定員数が24人となる可能性があります。

費用

無料(要予約)

- ※未就学児はご遠慮ください。

申問

7月6日(火)から

申込みには、氏名、連絡先が必須となります。

お申込み・お問合せ 大東市立生涯学習センター **アクロス**

〒574-0036 大阪府大東市末広町 1-301 ローレルスクエア住道サントワー内 ※JR 住道駅南側高層マンション内

TEL: 072-869-6505 FAX: 072-870-1405 E-mail: info@daito-across.jp

H P: 「大東 アクロス」で検索 開館時間: 午前9時～午後10時 休館日: 第2木曜日



お願い: 文化情報センターには専用の駐輪スペースがありません。ご来館の際には公共交通機関をご利用ください。

あらすじ

太平洋戦争中、約19万の日本の将兵が、その命を失ったビルマー。本作は、タイ・ビルマ国境付近で敗戦を迎えた後、祖国に還らなかった6名の日本兵、すなわち「未帰還兵」を描く。敗戦から60余年を隔て、戦争の記憶が薄れつつあるいま、90歳を前後する彼らを20代の監督・松林要樹がとらえた。2005年から3年に渡る取材で、松林はもうひとつの戦後史ともいべき彼らの暮らしに寄り添い、新たな証言を記録した。それは、ある未帰還兵の現代日本への遺言となった。製作中、2名が鬼籍に入ったからだ。なぜ彼らは日本に還らなかったのか？南国の激しい雨の間隙、晴れやかな日差しの中で、穏やかに老後を迎える元兵士たちの平和な日常に、漆黒の時代の闇が潜んでいる。



(c)2009 Yoju Matsubayashi

ご来場のお客様へ、お願いとご案内

新型コロナウイルス感染症予防対策のため、以下にご協力ください。

1. 会場入場時に手指のアルコール消毒を行ってください。
2. マスクを必ず着用して、ご参加ください。
3. 当日、発熱や風邪のような症状のある方につきましては、参加をお控えください。また、当日会場入り口にて検温をさせていただきます。
4. 開場中、上映時も客席のドアをすべて開放し、換気を行います。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大状況によりましては、本上映会を中止または延期させていただく場合がございますので、ご了承くださいませ。

会場ご案内図



アクロス&DIC21
YouTube
チャンネル
道案内動画

